

構造設備の概要（動物の飼養〔収容〕）種別

犬などの施設

畜舎の構造	木造	畜舎の棟数	ケージ20個 1棟
畜舎の面積	のべ○○㎡		
床の材質	コンクリート 他(塩ビシート、塩ビタイル)	床の勾配	有 ・ 無
排水溝	ドライ管理 有(材質) ・ 無	内 壁	(材質) ビニールクロスまたは撥水塗装 (高さ) 2.45m
給水設備	有(1か所) ・ 無 舎外 ・ 舎内	洗浄用水の給水方法	給水栓から 容器で運搬
汚物だめ(注備考)	(容量) 45L 2個(施設内) 蓋付き保管庫 100L 1個(施設外) 蓋付き保管庫 (材質) プラスチック (覆い) 有 ・ 無		
汚水だめ(注備考)	ドライ管理 (容量) m3・l 0個(か所) (材質) (覆い) 有 ・ 無		
汚水の浄化装置(注備考)	ドライ管理 有(〔方法〕下水道直接 ・ 汚水処理装置) ・ 無 浄化装置までの排水溝 材質 (覆い) 有 ・ 無		
飼料の種類	(材料又は種類) ペットフードを使用する		
飼料取扱室	床の材質	床の勾配	有 ・ 無
	排水溝	給水設備	有(か所) ・ 無
	排気装置	有(方法)換気扇・その他() (高さ) 無	
	容器	材質 個数 個	ドライ管理

備考

1. 施設の形態

・ ペットショップ・サロン・ホテル

2. 普段の清掃等の管理方法

- ・ 施設の流水による洗浄は行わない。(ドライ管理)
- ・ ペット用のケージ、運動スペース、保管・隔離スペースについては、毎日一回以上清掃、消毒を行う。
- ・ トリミングルームの設備、床については、使用の都度清掃し、毎日一回以上消毒する。
- ・ 店内、洗面所及びトイレについては、随時清掃及び消毒を行う。
- ・ シンク、ドッグバスについては、使用の都度清掃し、毎日一回以上消毒する。

3. 消毒の方法

- ・ ペット用のケージ、運動スペース、保管スペースについては、次亜塩素ナトリウム系の消毒液で毎日一回以上拭きあげる。
- ・ トリミングルームの設備、床については、次亜塩素ナトリウム系の消毒液で毎日一回以上拭きあげる。
- ・ シンク、ドッグバスについては、使用の都度中性洗剤で洗浄し、毎日一回以上次亜塩素ナトリウム系の消毒液を噴霧する。

4. ふん尿、被毛及び餌等の残さ物等ゴミの管理方法

- ・ ふん尿、被毛及び餌等残さ物については施設内の蓋付き保管庫に集積する。
産廃収集日の前日に、施設内保管庫の廃棄物を脱臭袋等に詰め、室外の蓋付き廃棄物保管庫に移して保管する。
室外保管庫の廃棄物は、毎週〇曜及び〇曜に〇〇市指定の産廃収集業者が収集する。
- ・ 動物の死体は一時的に施設内の蓋付き保管庫へ保管し、専門業者に焼却処理を委託する。

5. 維持管理方法

以下を徹底する事により、悪臭、そ族、昆虫等の発生を予防する。

そ族、昆虫等が発生した場合は、適宜駆除薬品及び捕獲器により駆除を行う。

- ・ ドライ管理とし、毎日二回以上のペットシート交換を行う。
- ・ ペット用のケージ、運動スペース、保管スペースについては、毎日一回以上の清掃と消毒を行う。
- ・ トリミングルーム、ホテルルームの設備、床については、使用の都度清掃し、毎日一回以上消毒する。
- ・ 店内、洗面所及びトイレについては、随時清掃する。
- ・ ペット用のケージ、保管・隔離スペース他の飼養用具の汚れが酷い場合は、都度洗浄の上消毒を行う。
- ・ 営業時間中は換気扇及び脱臭機を常時稼働させる。また、適宜窓を解放し換気を行う。
- ・ 換気扇にはフィルターを設置し、被毛の施設外への飛散を防止する。
- ・ ふん尿、被毛及び餌等残さ物については、施設内の蓋付き保管庫及び施設外の蓋付き保管庫に集積し、その他の場所には置かない。
- ・ 開封済みのドッグフード等については、蓋付き容器で保管する。
- ・ 全ての排水口にヘアーキャッチャーを設置し、被毛の下水への流入を防止する。また、ヘアーキャッチャーに溜まった被毛は、排水口がつかまらないよう随時除去し、蓋付きの廃棄物保管庫に集積する。

6. 構造設備等の概要

- ・ 平面図 別紙の通り
- ・ 付近の見取図 別紙の通り

7. 施設の連絡先

- ・ 事務担当者 大阪 太郎 携帯：〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇